

有害なおばけらしさ

2023年	2023年	2023年
11月12日	11月7日	10月28日
三稿	二稿	初稿

作
インコさん

「有害なおばけらしさ」・登場人物

仇奈須スイ

仇奈須モリ

十太郎

ハクばあさん／少年

吉井えみ

松村とおる

黒沢つばさ

・MOが流れる中、シートを被ったおばけたちが行き来する。曲FO。やがておばけたちに紛れて仇奈須スイが登場。手にはノートが数冊。それぞれの年代に即したもの

スイ
（一冊を手にとつて読む）「ろくがつむいか、はれ。ばらぐみ あだなすすい。わたしのままはとつてもきれい。それにいいにおい。ばらつてへんなにおいだけど、ままがいつてた。ばらは『ばらばらのばら』だからとつてもすてきなんだつて！」

・スイ、違うノートを手に取る

スイ
「三月一六日。大雨。6のつく日のお祝いにママがニワトリをしめさせてくれるつていうから、二人で学校の鳥小屋に行った。捕まっちゃつた。しめるつてなんだつたんだらう」

・スイ、違うノートを手に取る

スイ
「二月二〇日。薄曇り。地域の出し物でやる賛美歌の練習をしていたらママがみんなにお菓子をくれた。ママつて優しい。二月二一日。みんな入院した。ふしぎ」

・スイ、違うノートを手に取る

スイ
「一二月十五日。強風。えみちゃん先生と進路について話をした。ママが言つてる私の将来についての話をしたら家に来るつて。私には将来の夢はないから、あらかじめ決まつてることがあるならそれをやるのはいいのかもつて思う。将来の夢。昔書いてたこともあつたのかな。例えば、ママみたいになりたい、とか」

・ノートを閉じるスイ。おばけが現れ、それに連れられてゆくように去る。

・プロローグB・・・仇奈須家

・吉井えみが仇奈須家にやってくる。屋敷の広さに戸惑っている。

吉井　ごめんくださいー。仇奈須さんー家庭訪問に参りました吉井ですー……ほんと広い……

・ハクばあさん、登場。ボロボロの格好と怪奇なムード

ハクばあさん　ウケケケケー！やってきたのかい、このお屋敷にー！「おばけ一家」のお屋敷にー！

吉井　わ！いや、扉が勝手に開いたのでー

ハクばあさん　それはそれはいらつしやい。帰れー！

吉井　え！？

ハクばあさん　よく来たね。出てけー！

吉井　は？

ハクばあさん　と、逆さまな言葉で混乱させ、偏屈さを強く印象づける。どうだい、この「不思議の国のアリス」的な演出は！

吉井　演出……

ハクばあさん　帽子屋とかうさぎとか牡蠣の赤ちゃんとかね。って、そういう感想はないのかいー！

吉井　あまり読んだことはなくて

ハクばあさん　読まなくてもいいんだよあんな本は！

吉井　ええ？！

ハクばあさん　私自身の人となりへの感想だよ！

吉井　ああその……忘れられない人ではあります

ハクばあさん　そりやありがとね。ふざけんなー！

吉井　はあ。あの、仇奈須さん、娘さんのことでお話がー

ハクばあさん　ハッ！あたしやこの家の者じゃないよ

吉井　そうなんですか

ハクばあさん　お前さん、何も知らないのかい。「仇奈須のおばけ一家」を

吉井 街の噂レベルでは。敷地で黒魔術をしてオスプレイを墜落させたことがあるとか、資産家でハロウィンと名がつくすべての特許を持っているとか

ハクばあさん どれも真実でありおとぎ話。日本昔話であり世界三大珍味
吉井 珍味は関係ないのでは

ハクばあさん あとはご主人さまに聞きな。ご主人さまー！女が、女が一人でやってきましたですよー！

吉井 吉井です

・仇奈須モリが登場。

ハクばあさん ご主人さま今日も見目麗しゅう――

モリ ……(近くの霧吹きを取って水をかける)

ハクばあさん ひー！冷たいー！でもじんわり熱くなってくるゝ熱い熱いー！これは良くないものが入った液体だよー！

・ハクばあさん、逃げ去る。目が合うモリと吉井

吉井 ……お世話になっております、吉井と申します――

モリ 雇っているわけではないの

吉井 え？

モリ 今の人。外のブラックで外来種の餌やりをしているの。アライグマとかハクビシンの。それで食べ物をね、取りに時々家に入ってくるの

吉井 そう、なんですか

モリ ハクばあさんと呼ばれてるわ

吉井 ハクビシンの

モリ すぐ吐瀉物を出すから

吉井 ああそっちの

モリ それで、あなたは外来種？在来種？

吉井 え？わたくし東高校の吉井と申しまして、スイさんの担当を――

モリ まあ、あの子の餌やりを

吉井　　そういう表現はちよつと……
モリ　　教育は栄養。栄養はとどのつまり餌ね
吉井　　……（資料を出しながら）今日参りましたのは冬の親子
モリ　　ワークシヨップ——
モリ　　（聴いてない）あの子はどうなのかしら。どうもこうもな
吉井　　あの子は、お母様、よろしければイベントのお話を——
モリ　　モリよ
吉井　　え
モリ　　お母様ではなく。他人にお母様と呼ばれると、それはもう
吉井　　宗教団体ね
吉井　　（話を切り替えるように）この冬休みに親子で参加できる
ワークシヨップがあるんですね。いわゆるお仕事体験とか、
そういうつたものを通してお子さんの将来が見えることもあ
るか——
モリ　　あの子の将来は決まってるわ
吉井　　え
モリ　　人類の死神
吉井　　……あの、あらためてお伝えしますが、今ひとつ将来の道
筋が見えづらいお子さんにこのワークシヨップがあるわけ
でして
モリ　　飲み物がまだだったわね。豚の血は熱いのと冷たいのどつ
ちがいいかしら——
吉井　　おかあさ——モリさん、お子さんのこと、お好きですよ
ね？ だったらもつとまじめ——前向きに考えていただかな
いと
モリ　　こどもは好きよ。ウソをつき、小銭を盗み、虫や小動物を
殺す。無限の可能性があるもの
吉井　　……
モリ　　あの子はそのどれもしない。そこに物足りなさは感じるど
きはあるわね。もちろん、今のは家族から出る、取るに足
らない愚痴よ
吉井　　（小声で）どうかしてる
モリ　　そう、どうもこうもないのよ

吉井 …私は確かにキャリアも浅いですし、頼りないところもあることは自覚してますが、それでも――

モリ あなたは、私が誰かに頼りたいと思っている人間だと、そう見えているの？

吉井 あ…

モリ それとも、あなたは自分で頼りないと言っているだけで、本当はすべての人間が頼るべき存在なのかしら

吉井 ……

モリ だったら頼ってみようかしら。あの子を人類の死神にして
吉井 あ、はい…（納得しかけて）話が逸れてません？

・ハクばあさん、通り過ぎながら

ハクばあさん ご主人さまは魔女だからねー！安心して気をつけな―！

吉井 魔女…

モリ そんなに大声で褒めなくても

・ハクばあさんと入れかわりにスイ、帰宅

スイ ママただいま。あ、えみちゃん先生

吉井 こんにちは

スイ 進路の話今日だったっけ

モリ 進路は死者の国よ。北枕のある方角に進みなさい

吉井 本人の希望を聞かないと

スイ ママがそう言うならそうなのかも

吉井 スイさん、自分で考えようねー。（パンフレットを見せ）
お仕事体験してみない？

スイ 喉乾いたバリウム飲もう。えみちゃん先生も飲む？

吉井 飲みません！

モリ バリウムもいいけどスイ、あなた今日は――

スイ 6のつく日は降霊術。でしょ

吉井 降霊術…？

モリ 家事手伝いよ

吉井 その、いわゆる霊の呼び出しが？

スイ 呼べたことないけど

モリ 日々の積み重ねが大事よ。(吉井に) そろそろいいかしら

吉井 ……また伺います。パンフレットだけでも目を通していただければと

スイ えみちゃん先生、またね

吉井 またね。(スイだけに聴こえるように) いつでも相談のるからね。夜中でもいいからね。失礼します

・吉井、去る

モリ 気にかけてられているのね

スイ 色々教えてくれるよ

モリ そう。(去りに) 降霊術、ここでやりなさい。他者の思念が残ってたら変化もあるわ

スイ できるかな

モリ あなたなら。人類の死神さん

スイ ねえママ。それ、どうやったらなれるのかな

モリ 「死を尊(たつと)び負を祝(ことほ)ぐ」のが仇奈須の家風。それを尊重すれば自ずとよ

スイ うーん、ちよつとよくわかんない

モリ わからないことがあっても唾ひとつ吐かないのね。少し悲しいわ。でも私は信じている。私を含む全ての安心した死のために、がんばりなさい

スイ ママは霊、呼べたことあるの？

モリ 昔ね

・モリ、去る。スイ、降霊術の準備をしながら吉井が置いていったパンフレットを見る

スイ 親子おしごとたいけん……

・スイ、パンフレット片手に魔法陣を描くなど

スイ

フェロヒムフェツサイム——あ、間違えた。エロイムエツ
サイム・ヨアヒム・リアム・ノエル・オアシス…（手順を
確認し）三つ前から間違えてる！……私にできるのかな。
死をたつとび、負をかつ飛ばすなんて……

・落ち込むスイ。普段とは違うやり方が功を奏したのか、やがて一人のお
ばけ、十太郎があらわれる

十太郎

呼びました？

スイ

……ママー！

・暗転。音楽。

・1場……・仇奈須家。翌日

・ハクばあさん、懐中電灯かランタンを持って暗い部屋の中で食べ物を探
している。

ハクばあさん

パンはどこだい……米は……米粉。パンは……

・物音。ライトを消す

ハクばあさん

あたしやここにいないよー

・ライトを付けると側に十太郎がいる

ハクばあさん

ギヤー！

十太郎

ギヤー！

ハクばあさん

ギヤー！

十太郎

ギヤー！

・ハクばあさんと十太郎、意味もなく叫び合う。ライトを当てるたびポー
ズを取る十太郎など。やがて明かりがついてスイ登場

スイ

ここにいたんだ

ハクばあさん スイお嬢さん、こいつは誰だい
スイ 降霊術がうまくいったの
ハクばあさん え？じゃあこれが霊？
十太郎 心的霊体、アストラルボディ、幽霊ないしはおばけ。まあ
カテゴリーはなんでも
スイ 名前は十太郎っていうんだって
ハクばあさん おばけの十太郎
十太郎 いとこにQ太郎とO次郎がいて、そのまたいとこに裕次郎
がいて、その兄貴が慎太郎です。裕次郎は人気者で
ハクばあさん 慎太郎は
十太郎 地獄で楽しくやっています
二人 あはーはーはーは
スイ なんかもまるごとわかんない。そうだ、ママ知らない？せつ
かくおばけを呼び出せたから早く見せたいのに
ハクばあさん 見てないねえ。ご主人さまの気配がないから食い物をあさ
りに来たってわけだからね
十太郎 ご主人さま
ハクばあさん 仇奈須のおばけ一家の家長、モリさまだよ
十太郎 おばけ一家。じゃあスイさんも仲間じゃないですか
スイ おばけじゃないよ。近所の人から呼ばれてるだけ
十太郎 なるほど。自分も霊界で穀潰しなんて呼ばれてますが呼ば
れてるだけですからね
ハクばあさん そう、食い物を探してるんだった
十太郎 パンなら全部食べましたよ
スイ お米ならそっちにあったけど
十太郎 米も全部食べました。塩と砂糖も
ハクばあさん 米粉パンは
十太郎 それは食べてないですね
ハクばあさん (探そうとする)
スイ そんな家にないよ
ハクばあさん ガッダム！ほんとあんた穀潰しじゃないのさ
十太郎 まあ食べ物片っ端から食べますよ(ジエスチャー)
ハクばあさん オバQのいところだから

十太郎　　今のはゴーストバスターズの緑のやつです

ハクばあさん

あ、そっち

二人

あはーはーはーは

スイ

なんかまるごとわかんない

ハクばあさん

仕方ないよ、Z世代だからね

十太郎

Z：Q：やつぱり仲間感ありますね

・モリ、登場。一気に話しかける面々

スイ

あ、ママ！聞いて――

ハクばあさん

アライグマのエサを恵んでくたせえ――

十太郎

パンごちそうさまでした「ナイススティック」の味がナイ
スでした

モリ

：霊を呼べたのね

スイ

よくわかったね

モリ

外来種の餌を取りに来ると思ってパンに農薬を入れてたの。

（十太郎を見て）それを食べても平気なのよね

ハクばあさん

あれ？アタスのアライグマ死ぬところだった？

スイ

私がパン食べてたらどうなったの？

十太郎

僕の舌バカだったんですね

モリ

それで、名前はなんていうの？

ハクばあさん

安定の無視

スイ

おばけの十太郎

モリ

なんて醜い名前。気に入ったわ

十太郎

ありがとうございます。醜いのは名前だけですよね

モリ

顔は言わずもがなよ。（スイに）未来に一步近づいたわね

スイ

それで、何をすればいいの

モリ

好きなように。あなたの歩く道は屍で舗装される

ハクばあさん

それが青山のキラー通り

十太郎

ワオ

二人

あはーはーはーは

・モリ、霧吹きを取りに行く。ハクばあさん、察して逃げる

ハクばあさん ひいひい

・ハクばあさんが逃げる際にパンフレットが床に

スイ (パンフレットを見て) えみちゃん先生が言ってたやつ

モリ 労働もいいわね。殺意を育てるのに最適

スイ じゃあこれに行こうかな。親子で行くやつだからママも一緒に――

モリ 私は労働そのものを殺したから。せっかく呼び出したんだから二人で行ってらっしゃい

スイ うん

モリ 先方には伝えておくわ(十太郎に) 手助け、できるでしょう
期待に応えられるよう頑張りすぎず努力します。Z世代っぽく言ってみました

モリ ……私を不安にさせるなんて才能あるわね

十太郎 ありがとうございます

モリ 頼んだわよ

・モリ、去る

十太郎 期待されてるんですね

スイ 人類の死神になれって

十太郎 いきますね。歩くペストじゃないですか

スイ どうすればなれるのかわからないけど。お仕事体験、ママもえみちゃん先生もやってみればって言うし

十太郎 先生ですか。我々には学校も試験もなんにもないから
またわからないこと言おうとしている？

スイ その気配を察するのも相当ですね

十太郎 (パンフレットを見て) これは？誰でもできる軽作業

十太郎 軽作業は重労働のことですよ

スイ そうなの？じゃあアットホームなピックアップ

十太郎 聞バイトの受け子じゃないですか

スイ それ何？えみちゃん先生に聞いてみよ

・二人、話しながらハケてゆく。